

# 甲南大学

お問い合わせ

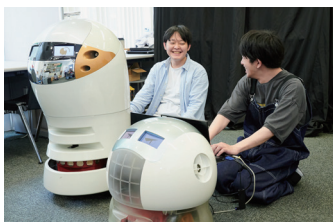
神戸市東灘区岡本8-9-1  
TEL.078-435-2468



甲南大学  
知能情報学部  
公式HP



甲南大学  
YouTube  
※YouTubeは、  
Google LLC の商標です。



▲ 学生主体で開発されている漫才ロボット

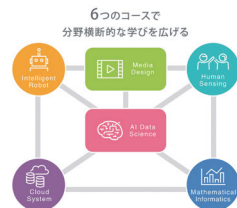
知能情報学部のさらなる  
発展を目指します。



知能情報学部  
甲南デジタルツイン研究所 所長  
灘本 明代 教授



知能情報学部  
学部長  
北村 達也 教授



## 先進的な6コースにもとづく分野横断的な学び

甲南大学知能情報学部では、知能ロボット、メディアデザイン、ヒューマンセンシング、AIデータサイエンス、クラウドシステム、数理情報の6コースに基づいた教育・研究を行っています。学生はこれらのコースから複数を選択することによって、

自らの学びをデザインし、分野横断的な知識やスキルを身につけることができます。学部での4年間にわたり、座学のみでなく、演習・実習型の科目や、教員と学生あるいは学生同士が議論しながら進めていく双方向型の科目が設定されており、コミュニケーション能力や人間力の育成にも力を入れています。また、同学部では大学院を含めた6年教育による高度1T人材の育成を推進しており、2028年度には大学院が知能情報学研究科として独立することが予定されています（設置構想中）。甲南

大学は人物教育を目標としており、教員と学生の距離が近いことが特長です。学生の好奇心に応える「KONANプレミア・プロジェクト」により入学直後からロボット開発、競技プログラミングなどの様々な課外活動に参加できます。このような取り組みが学会やコンテストにおける受賞などにつながっており、学生の自信となりさらなる自律的な学びを促進する正のスパイラルを生み出しています。同学部の研究成果として特に注目され、マスメディアでも多数紹介されているのが、漫才ロボットの研究です。学生と教員が共同で開発したこのロボットは、生成AI技術を活用して与えられたお題から漫才台本を自動生成し、実際に演じることが可能です。このようなユニークなプロジェクトを通じて、甲南大学知能情報学部は情報学における新たな可能性を探求しており、学生が先端技術を活かして創造的な未来を築けるよう支援しています。

## 甲南デジタルツイン研究所開設！

2024年に甲南デジタルツイン研究所が併設され、サイバー空間とフィジカル空間が融合したデジタルツイン社会に求められる技術に関する研究がスタートしました。この研究所では情報学の未来を切り開く未来創造型研究と実社会に役立つ社会実装型研究が行われており、大規模言語モデル（生成AI）、クロスリアリティ（VR、ARなど）、ロボティクスなどの分野を融合した研究、量子計算やエッジコンピューティングなどの次世代の技術に関する研究が進められています。これらの高度な研究を教育や社会にフィードバックし、甲南大学